

古着支援プロジェクト

水害で被害を受けた地域、点在する刑務所の受刑者にも支給されました



メダンに届いた古着

奨学金を受ける高校生たち

奨学金の支援はじまる

2年ぶりに古着が到着したのは7月22日のことでした。インドネシア・北スマトラは2001年から古着の支援が続いています。40フィート・コンテナが2本、合計2000箱の古着が送られてきます。わかあいプロジェクト・スマトラ事務所は コンテナが陸揚げされるメダンのペラワン港から車で約7時間、距離にして300キロ離れた、内陸部のタルトゥンに位置します。過去2回は2台のトレーラーが12時間以上かけて陸送してきましたが、今回はメダンに住む入江一義牧師の協力を得、入江先生宅に隣接する神学校の教室をお借りして、古着を保管していただくことになりました。タルトゥンからメダンへ出かけるときにはピックアップを運転し、古着の運搬をするという仕事が増えました。

タルトゥンの町では、古着ショップが営業を続けています。現在ショップに関わる現地のスタッフは3名、オジャックさん・リクさん夫妻、ジュウイノ君です。開店は朝8時。タルトゥンでは毎週2日市場が開かれますが、ショップの場所が市場から200メートルほどという好条件に恵まれているので、市場が開かれる土曜日でも休まず営業しています。

古着の売れ行きは好調です。市場では多くの中国製、韓国製の古着が安値で販売されていますが、山積みの状態ではわくちやのままだ販売されていたりしますが、キチンと整理されている古着屋の商品の方が好まれるようです。古着を販売するに当たって、あまり安く販売して地元の商に悪影響を与えないようにと、価格設定を高めています。それでもコンスタントに売れているのは喜ばしいことです。

宇野 仰 (スマトラ事務所代表)

当初の予定であった、古着の売上げを地元で奨学金基金を設立し役立てる計画が今年6月からスタートしました。売上げ額が日本円で100万円に達した時点で、定期預金を作り毎月の利子を奨学金として活用するというものです。奨学生の選考に当たってはこちらの教会関係者に依頼し、7名の高校生が選ばれました。3人の男子、4名の女子に毎月1日、古着ショップにて手渡されます。毎年売上げの利息を利用する計画ですので、奨学生の数は増えてゆきます。クリスチャンのみでないイスラム教の人たちにも利用してもらえればよいと考えています。

また古着は販売するのみではなく、前回送られてきたものは、水害で被害を受けた地域、点在する刑務所の受刑者、また教会を通して財政的に十分な家族たちにも配られています。現在タルトゥンで火事の被害で焼け出された人たちに支給する計画が進んでいます。ショップでは地元のリストン・コーヒー、また地元で作られているラタンの敷物を販売、さらにはタルトゥンで初めてのインターネット・カフェも利用できます。コーヒーはメダンの各所でも販売されており、古着の運送の時は委託販売先を回り、在庫管理なども行なっています。

古着支援で地元から喜ばれる一方、インドネシアでは国内産業保護の立場から、海外からの古着の受け入れをかなり制限するようになってきました。今回の受け入れに際しても税関などとの交渉はなかなかすんなり進みませんでした。需要はあるけれど、そこに到達するまでの道程に手間がかかるのです。

どうぞ今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

第12回 2004年度古着支援報告

古着の支援ありがとうございました

- ◎ 支援先：
 - エリトリア (国内避難民へ)
 - 40フィートコンテナ3本、
 - バングラデッシュ (自然災害被災者、医師へ)
 - 40フィートコンテナ2本、
 - インドネシア 40フィート2本
- ◎ 寄付された古着 : 5,757個
- ◎ 募金額 : 7,750,287円
- ◎ バングラデッシュ、エリトリアはまだ、報告が届いていません。届き次第ホームページに掲載いたします。

●第13回 2005年度 古着支援要項

2005年以下の要項に従って古着を集めます。ご協力の方はよろしくお願ひいたします。送り先と受け付け期間を間違えないようにお願ひいたします。衣料品以外のものは対象外ですので了解ください。

- ◎ 支援先 (予定) : エリトリア、バングラデッシュなど
- ◎ 古着の種類 : 子供と大人の衣類 (夏冬のすべて) /ズボン、 टीシャツ、 スカート、 ワイシャツ、 ジェーン、 袴、 トレーナー、 ジャージ、 カーデガン、 セーター、 コードなど タオル、 シーツも可
- ◎ 古着の状態 : 洗濯に出したもの、あるいは自分で洗濯してアイロンをかけたものにしてください。
- ◎ 古着の数量 : ダンボール箱 4000個 (40フィートコンテナ5台)
- ◎ 送り先 : 大田区東浜島 1-1-2 ヤマト (株) 内(電話: 03-3799-1921) わかあいプロジェクト (現地への持ち込み、ヤマトを使う必要なし)
- ◎ 受付期間 : 2005年6月1日(水) ~ 6月11日(土) (この期間に到着するようにお送りください)
- ◎ ダンボール箱の大きさ : 引越し用段ボール箱大のおおきさまで (縦・横・高さの合計が1.5mまで)
- ◎ 送料 募金 : ダンボール1箱あたり、1,500円 (古着の寄付だけは受け付けていません。送料カンパを条件としています。荷物と一緒にカンパを送られますと、そのまま現地まで送られてまいります。ご面倒ですが郵便振替でご送金ください)

カンボジア学校設立募金にご協力ください



カンボジアの小学生

第1期目標額：1000万円
募 集 期 間：2006年12月末
現在の募金額：3,275,016円 (2004年11月現在)

皆様のご支援をえて1999年から2003年まで5年間に小学校10校を建設し、ワークキャンプ5回を行ってきました。カンボジアでもポルポトの支配地域であったため学校もない貧しい地域に小学校を建てるという当初の目的を達成することができました。ご協力ありがとうございました。

これから、いまでの教育支援活動の経験をもとに、次の目標を掲げて皆様のご支援を呼びかけさせていただきます。

●中学校の建設と運営

いままではカンボジアの地方自治(郡)に協力して学校建設のための資金を提供することが私たちの主たる役割でした。今後は、カンボジアの教育指導者と協力して私立学校を建設して、継続的に学校とその子供たちとの関係を築いていく形で支援を考えます。

募金送り先
郵便振替口座 わかあいプロジェクト募金 00130-7-762258
 (振替用紙の通欄にカンボジア募金とご記入ください。)

完成した小学校と子どもたち



2005年の募金目的と目標額

- 国民、国内避難民ほか支援 700万円
- 古着などのコンテナ費用
- カンボジア学校建設募金 300万円

募金目標額 1000万円

募金の送金先

郵便振替口座
わかあいプロジェクト募金
00130-7-762258

2004年度 わかあいプロジェクト 収支決算報告書

2004.4.1~2004.10.31

| 収入 | |
|----------------|-------------|
| 前年度繰越 | 5,178,344円 |
| コーヒー紅茶売上 | 12,132,742円 |
| 募金 | 8,879,401円 |
| 外務省補助金 | 2,111,968円 |
| その他の収入 | 380,151円 |
| 収入合計 | 28,682,606円 |
| 支出 | |
| コーヒー紅煎込仕入 | 10,387,489円 |
| 支援 エリトリア | 2,803,319円 |
| タイ | 291,720円 |
| インドネシア | 2,287,577円 |
| バングラデッシュ | 1,602,530円 |
| パレスチナ病院 | 110,250円 |
| その他支援 | 70,000円 |
| 活動費 | 648,600円 |
| 事務管理費 | 5,565,009円 |
| 貸付金 | 2,166,964円 |
| (フェアトレードラベリング) | |
| 支出合計 | 25,933,558円 |
| 差引残 | 2,749,048円 |